

おおた区議会だより

No.170

平成18年7月30日発行

第2回定例会号

第2回臨時会号

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号

電話 03-5744-1474(直通) ホームページ <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



城南島海浜公園 つばさ浜

一般会計補正予算(第2次)を可決

(仮称)海苔資料館の設計委託費など

8、694万円を増額

大田区議会は、平成18年第2回定例会を6月8日から19日までの12日間の会期で開きました。本会議第1日の区長あいさつの後、5名の議員が会派を代表して質問を行いました。第2日には13名の議員が一般質問を行いました。(2・3面に要旨を掲載)

また、皆様から提出された請願・陳情は関係委員会で審査した結果、採択1件、不採択1件、そのほかは継続審査となりました。(4面に請願・陳情の結果を掲載)

指定管理者の指定1件、公園の廃止1件、清掃車両の購入1件、教育委員会委員の任命に伴う同意1件、人権推進委員候補者の推薦の答申7件が区長から提出され、審議の結果すべて原案どおり可決しました。(4面に定例会で決まった議案を掲載)

この定例会には、平成18年度一般会計補正予算(第2次)のほか、大田区北蒲広場条例をはじめとする条例議案8件、報告議案7件、工事請負契約3件、

第6回平和祈念コンサート

8月15日(水)

14:00開演(13時開場)

大田区民ホール
アプリコ 大ホール

入場料
通常5,500円 A席3,000円

▼チケット(全席指定) S席/3,500円 A席/3,000円

▼チケット申し込み お近くの大会区議員まで
 実行委員会事務局 5744-1480
 大田文化の森 3772-0700

▼問い合わせ先 大田区議会事務局 5744-1472

第2回定例会の内容

- 6月
- 8日 本会議(第1日)
- 9日 本会議(第2日)
- 12日 常任委員会
- 13日 常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 特別委員会
- 19日 本会議(第3日)

第3回定例会の予定

- 9月
- 21日 本会議(第1日)
- 22日 本会議(第2日)
- 25日 常任委員会
- 26日 常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 特別委員会
- 10月
- 2日 本会議(第3日)
- 3日 委員会
- 4日
- 5日
- 6日
- 10日 決算特別委員会
- 11日
- 12日
- 16日 本会議(第4日)

○請願・陳情の締め切りは、第1次分が9月13日(水)、第2次分が9月22日(金)の予定です。

議員の寄付は罰則をもって禁止されています。議員に寄付を求めることも禁止されています。

代表質問

大田区の抱える諸課題と今後の展望について

自由民主党大田区議団・区民連合 鈴木 章浩

〈はばたきプログラム〉

組む。

◎景気の先行きが不透明な現在、政策の優先順位をどうつけて取り組むのか。

◎常に政策の見直しを行い、区民満足度向上に努力する。

〈18年度予算〉

◎三位一体改革に伴う国庫補助金廃止の影響は、

◎区の超過負担は13億円を超えている。

◎来年度から住民税の割合が変わるが、区への影響は、

◎区民税が6%、都民税が4%となる。試算で税収は10億円程度増加する。

◎公共施設整備基金

◎基金に30億円積立てたが、区内500以上の公共施設の改修計画を伺う。

◎施設の情報を電子化し、人間の判断を加え万全を期して維持していく。

〈都区協議〉

◎23区再編に向け力強く取り組むべきと考えるがいかがか。

◎区長会も意識改革し、都区間の問題に意欲的に取り組む。



羽田空港

〈清掃一部事務組合〉

◎組合における合併会社設立は説明不足ではないか。

◎組合出資ではなく23区が出資してやるべきと主張している。精一杯努力する。

◎行政情報化ビジョン

◎オンライン決済の方法としてクレジットカード納付を検討すべき。

◎個人情報漏えいの問題等もあり、慎重に検討する。

〈防災対策〉

◎耐震診断事業の周知徹底や利用度を高めるため、見積もり無料化等の取り組みを期待する。

◎十二分に意見を反映させて取り組む。

◎避難訓練をしていない地域やマンションなどに対する訓練や、避難所の確認に取り組むべきではないか。

◎十二分に考慮し、取り組みをより強化する。

〈まちづくり〉

◎まちづくり協議会への助成金が来年度で廃止され、活動継続が困難になった場合、どう検討していくのか。

◎延長は1年ごとに検討する。

◎空港跡地の整備も含め港湾埋立て地域の活用を伺う。

◎将来の理想像を描き、実行に移せる方向を模索する。

◎学校経営改革

◎教員の指導力向上について伺う。

◎非常に重要なことであり、今後の検討課題とする。

〈介護保険制度〉

◎4月から設置された地域包括支援センターの成果をどうとらえているか。

◎制度改正の影響で、介護予防だけでなく様々な相談が約50件あった。

◎準備基金積立金の収支計画について伺う。

◎3年計画では積立金は減少傾向に向かう。

◎制度改正により介護事業者や利用者に混乱はないか。

◎サービスの問い合わせが多かったが、5月の説明会以降、減ってきている。

◎生活援助サービスを充実させることが在宅ケアを推進させると考えるが、

◎適切なマネージメントを行い、家事援助サービスも提供できるようにしていく。

〈環境問題〉

◎環境美化活動が1年を通じて実施できる体制づくりが必要ではないか。

◎年間を通して意識啓発している。

◎より効果的な放置自転車対策を取れないものか。

◎鉄道事業者に駐輪場用地の提供を働きかける。

〈特別支援教育〉

◎教育委員会の基本的な考

◎今後も独自に指導力の向上に努める。

◎副校長の民間人登用について伺う。

◎今後の検討課題とする。



河川敷美化活動

今こそ「住民福祉を守る自治体」の役割を

日本共産党大田区議団 大竹 辰治

〈くらし・平和を守る区政へ〉

◎国民・区民に負担だけ押し付ける一方、大企業の減税やアメリカへ3兆円の負担を進める、小泉構造改革を今でも評価しているのか。

◎一定の評価をしている。

◎違法判決が出た大阪府大東市、横浜市の保育園民営化と同じ手法の区の民営化中止を。

◎全て順調に運営されている。今後も区民サービス向上のため予定どおり進める。

◎大田西地域行政センター移転計画は、民間企業に土地売却ではなく、不足している特養ホームや区営住宅等区民施設をつくるべき。

◎駅前の開発も見込める計画で、区民の利益になる方向で考える。

◎区内10区で実施している住民税課税世帯の障害者通所施設の食事に区でも助成を。国へ軽減策を求めよ。

◎食事は家庭でも生じるも

◎社会の格差状況をどうとらえているか。対応策は。

◎格差が全くない社会は理想論かも知れないが、自治体は地域社会に格差を持つた取り扱いをする考え方を持ってはならない。

◎路上生活者数の推移は。

◎平成15年から18年までに

◎100人近く増えている。

◎区の路上生活者の施策は。

◎自立支援中心である。

◎生活保護制度の広報と地域との役割分担は。

◎区の生活福祉課が具体的な対応を行い、色々なネットワークを通じ、該当者に対し手を差し伸べる。

◎高年齢者用住宅の目標50戸の実現を求め。

◎今年度中に50戸を上回る着工を目指し努力している。

◎認可園を2園建設するなど、抜本的な対策を行うべき。

◎都認証園の開設、認可保育園の新設などにより、解消に努める。

◎売電事業参入の是非

◎東京ガスと清掃一組合の新社の売電事業は、区長もメンバーの一組経営委員会が提案した。区民は経営チェックができないが。

◎区も経営のチェックができる体制で取り組む。

◎電力販売は競争入札で。否定していない。

◎地域包括支援センター

◎区の責任で政策的判断が

◎子育てと地域支援

◎子育てとハンドブックに父親の子育て参加の項を増やしてほしい。

◎改訂時に、父親の子育て参加を促すよう工夫する。

◎マタニティマークを使うたキーホルダーの配付や、区独自のポスターの公募を提案する。

◎マークを活用した効果的な普及方法を検討する。

◎マタニティマークの入っ

◎横浜市保育園民営化に対する判決への区の見解は。

◎十分な説明と情報提供が大切だと考えている。

◎指定管理者制度のサービ

ス改善についての見解は。◎利用者が改善要望をした点を管理者に注意し、改善する。今後も監視する。



区立保育園の園児たち

分権にふさわしい責任のもてる区政運営を

ネット・無所属連合 内田 秀子

◎できる仕組みが必要では。

◎3職種の人員を配置し、適切に対応したい。

◎多摩川清掃工場

たポスターの掲示場所は。

◎地域行政センター、子ども育成部、保健所に掲示し、チラシを各窓口で配付している。児童館等にも掲示していきたい。

◎安心、安全の街づくり

◎子ども緊急連絡システムに期待する効果を伺う。

◎迅速性、正確性に優れ、事件、事故の防止、地域の安全性向上に期待している。

◎各学校での地域安全マップの作成状況を伺う。

◎小学校は全校、中学校は

一般質問

大田区議会公明党 清波 貞子



シルバーピア蒲田



多摩川清掃工場

17校が作成し、未作成の学校には作成を指導する。

◎昨年4月に女性の帰宅路総点検の結果を区に提出したが、どう対応したのか。

◎17年度は48か所、18年度は17か所、街路灯の増設等の対応をしている。

ネット・無所属連合 奈須 利江

◎23区売電事業参入

◎清掃一組と東京ガス合併の新会社は区長も参加の一組経営委員会の提案か。

◎第2分科会長は昨年までで提案には関与していない。

◎23区が新会社から一方的に電力調達するのは自治権侵害ではないか。

◎各区の判断と考える。

◎「その他プラスチック」を分別収集し資源活用を。

◎素材や汚れの問題から熱エネルギーとして利用する。

◎ごみ減量努力が費用負担に反映する仕組みづくりを。

◎拡大生産者責任に基づき政策を国等に求める。

◎指定管理者の指定

◎客観的な選定基準と透明性の確保が必要ではないか。

◎一律の基準はなじまない。

◎発達段階に応じた具体的な指導内容をまとめた規範意識向上プログラムを活用し、規範意識を育成する。

◎家庭教育、地域教育

◎子どもが地域や家族とのかわりの薄い現状で、社会に適應する力を育てるためにどう取り組むのか。

◎人間関係形成能力の育成につながる取り組みや、地域の人材を教室に招いての授業、地域の人たちとかわる体験活動を進める。

◎児童・生徒の問題行動を抑止するためには、家庭に対して意識啓発を図ることが大切ではないか。

◎家庭が本来の機能を発揮し、子どもの健全な成長を促すことが基本である。本来の家庭の在り方についての意識啓発を図る。

大田区議会公明党 松本 洋之

◎区政60周年

◎60周年という記念すべき機会に、愛唱歌ともいえるべき「区民の歌」作成を検討してはどうか。

◎周年行事の中で検討する。

◎60周年にふさわしい大田ドリーム債の発行を提案する。

◎発行に向け検討する。

◎子育て支援

◎地域企業の協賛で、子育て中の家庭の経済的負担を軽減する施策が石川県などで実施されている。区でも独自の施策を検討すべき。

◎真に必要な経済的支援という視点から検討を進める。

◎市場化テストのあり方を検討し、可能なところから試行する考えはあるか。

◎市場化テストは、戸籍、住民票等の交付業務が想定される。今後市場化テストを視野に入れ、よりよい公共サービスを提供する。

◎改革の最大の課題は何か。また、改革の決意を伺う。

◎区民満足度をいかに高めるかという意識を持ち、意識的に最適化・効率化を考案業務を行う必要がある。

行政改革は、不断に推進していかなければならないという意識で取り組む。

大田区議会民主党 都野 圭子

◎子育てすくすくネット

◎この事業の意図を伺う。

◎地域の協力者や児童館利用者・元利用者をつなぎ、児童館の子育て支援を拡充する。

◎子ども緊急連絡システム

◎登録家庭が全体の30%であり、拡大の余地があるのではないか。

◎小学生以下の子どもがいる家庭の登録率は約40%である。伸び悩むようであれば再度PRを行う。

◎小中学校の少人数学級

◎40人学級は教師の負担も重い。学力世界一のフィンランドは中学校も20数名のクラスであり、学習効果の面からも定員引き下げは検討の価値があるのでは。

◎一概に少人数の方がよいという結論にはならない。

◎夏場に備え蚊の発生源対策を伺う。

◎区道雨水ますに環境にやさしい羽化抑制剤を定期的に入投して発生防止に努め、繁殖しにくい環境を目指す。また、特集記事を8月1日号の区報に掲載するほか、ホームページへの掲載も検討する。

無所属の会 有川 靖夫

◎夏場に備え蚊の発生源対策を伺う。

◎区道雨水ますに環境にやさしい羽化抑制剤を定期的に入投して発生防止に努め、繁殖しにくい環境を目指す。また、特集記事を8月1日号の区報に掲載するほか、ホームページへの掲載も検討する。

◎訓練場所確保に苦労している。区は支援を。

◎団や市民消防隊訓練の重要性、必要性を区民に理解が得られるよう、区報等を通し周知する。訓練場所確保も団から相談があり次第、

自由民主党大田区議団・区民連合 岸田 哲治

◎消防団について

◎訓練場所確保に苦労している。区は支援を。

◎団や市民消防隊訓練の重要性、必要性を区民に理解が得られるよう、区報等を通し周知する。訓練場所確保も団から相談があり次第、

◎香川対策

◎浸漬とばつき装置設置では水質の改善が見られない。

◎18年度は大平橋下流に水質改善剤を散布し、効果を検証する。今後も改善のため情報収集し努力する。

◎AED(除細動器)

◎体力的に活動困難な団員が増加し、活動体制に支障が出るのでは。見解を伺う。

◎区内消防団員の平均年齢は50歳。団は消火、情報収集や避難誘導等活動がある。地域防災リーダーとしての活躍を期待している。

◎団員確保のため、区は努力しているのか。

◎団は地域密着の防災機関である。区報での団員募集や、防災課窓口や様々なイベントで募集パンフ配布等の広報を行っている。

◎出動団員に対し助成金を。指導費を助成している。

◎区職員も消防団の訓練に参加し非常災害に備えては。職員が団員になるのは可能。活動中の職員もいる。

自由民主党大田区議団・区民連合 大森 昭彦

◎介護保険制度

◎車いす、電動ベッド、ヘルパー等サービス切り捨ての実態がある。見過ごさず区独自の支援をすべきだ。

◎現在は考えていない。

◎介護計画を作ってもらえない区民が出ないよう地域包括支援センターの増設を。現状で問題ないと考える。

◎障害者自立支援法

◎利用料等の自己負担で施設に通えない人も出ている。制度撤廃を国に求めよ。

◎撤廃を求める考えはない。

◎減収により運営が困難な施設へ、他区のように助成を。

◎区立177施設に175台配置した。今後の保守は耐用年数等を考慮し行う。

◎梅屋敷の名について

◎梅屋敷公園がなくなると地名根拠が消滅するが。

◎国道拡幅工事により、面積は縮小するが、梅の木などを活かし「聖跡蒲田梅屋敷公園」として残したい。

◎地域では改築後の総合体育館に「梅屋敷」の名称をという要望があるが。

◎地元の声は、愛着の表れ。具体的に名称を決定する時期に地域住民など様々な意見を踏まえ検討したい。

日本共産党大田区議団 清水 菊美

◎安全なまちづくり

◎住宅の耐震化促進策は。4月から、耐震診断・改修の促進事業を開始した。

◎消防法改正への対策は。

◎既存住宅への火災警報器の設置の普及を促進する。

◎住宅侵入防止対策は。

◎警察や地域の防犯活動団体と連携し活動に取り組む。

大田区議会緑の党 野呂 恵子

◎DVは夫婦だけでなく、児童、高齢者虐待にも及ぶ。相談員の確保と連携を。

◎各センターに配置し、情報交換も行っている。

◎保育園の保育士にも給食の用意を。

◎保育士が子どもと同じ食事を取ること必要と認識している。今後研究したい。

日本共産党大田区議団 黒沼 良光

◎少子化対策・子育て支援

◎第1子10万円の誕生祝金制度実施の検討を。

◎実施する考えはない。

◎待機児ゼロのため区立認可保育園の計画を立てよ。

◎区立保育園改築、定数見直し、都認証保育所の開設で対応する。

◎都作成のポケット労働法パンフを成人式に贈呈を。

◎困難である。

◎民間委託の保育園職員の賃金を区職員と同一に。

◎受託者内部の問題である。

◎保育料を元に戻すべき。

◎その考えはない。

◎新設は考えていない。

◎高齢者用木製ベンチを100mおきに設置しては。

◎設置は考えていない。

自由民主党大田区議団・区民連合 湯本 良太郎

◎海苔資料館、街の歴史

◎資料館は多くの人が足を運ぶ施設を目指すべきでは。

◎地元の意向を踏まえ、検討し喜ばれるものをつくる。

◎過去があり現在がある歴史を知ることが感謝、愛着誇りへとつながるのでは。

◎地域や街の歴史を知ること大切と考える。

◎街の歴史を子どもが学習することは大きな意味があると思うかが。

◎地域の一人の自覚を高めさせ、誇りと愛情を育成することに繋がると考える。

◎子ども交流センター

◎センターは他の児童館と比較し低予算で様々な工夫をしている。努力に報いるため、協働の視点で支援を。

◎活動は区も評価している。必要な支援は引き続き行う。

◎その他の質問



ご覧ください
本会議インターネット中継

本会議の録画映像(平成17年第1回定例会分)からインターネットでご覧いただけます。また、本会議を録画したビデオテープの視聴も受け付けていますので、ご利用ください。

<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

定例会で決まった議案

○は全会一致の議案
▽は賛成者多数の議案(各
会派の態度は表のとおり)

区長提出議案

平成18年度補正予算

○一般会計(第2次)

(8,694万円増額する。)

条例の制定

○大田区北蒲広場条例

(広場の設置、使用手続、
使用料等を定める。)

条例の一部改正

▽大田区特別区税条例

(特別区民税の税率の見直
し、定率減税の廃止、特
別区たばこ税の税率の引
上げ等を行うほか、規定
を整備する。)

▽大田区立知的障害者援護
施設条例

(障害者自立支援法が規定
する新事業体系への移行
に伴う経過措置に対応す
る。)

▽大田区立新蒲田福祉セン
ター条例

(同)
設備工事

▽大田区立上池台障害者福
祉会館条例

○大田区立児童遊園条例
(東和児童遊園を廃止する。)

○大田区立心身障害児通所
施設条例

(こども発達センターわか
ばの家分館を設置する。)

▽大田区立図書館設置条例

(図書館の管理に指定管理
者制度を導入する。)

工事請負契約

○大田区田園調布二丁目付
近枝線その13工事(下水
道)

(契約金額2億6,985
万円、契約の相手方、
佐々木・醍醐・阿部建設
工事共同企業体)

○仮称大田区立大森南四丁
目工場アパート新築工事

(同14億1,750万円、
北信・アゼル・三ツ木・
河津建設工事共同企業体)

○仮称大田区立大森南四丁
目工場アパート新築電気
設備工事

(同3億6,193万5千
円、古河・高田・斉藤建
設工事共同企業体)

○購入

○小型プレス車(軽油ごみ
収集車5台、2,345
万1,500円)

指定管理者の指定

▽大田区立知的障害者援護
施設

・はぎなか園(知恵の光会)

・知的障害者デイサービス
センターはぎなか(同)

公園の廃止

○東中公園

(雪谷特別出張所及び雪谷
保育園の建替えのため、
廃止する。)

報 告

緑越明許費

・平成17年度緑越計算書

区が出資する法人の経営
状況に関する書類

・大田区土地開発公社
・財団法人大田区文化振興
協会
・財団法人大田区産業振興
協会

意見が異なった議案に対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対

Table with columns for item name, party name, and voting status (賛成/反対) for various bills.

北朝鮮のミサイル発射に対し厳重に抗議する意見書

平成18年7月5日、北朝鮮が弾道ミサイル「テポドン2号」を含む7発のミサイルを発射した。...

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年7月19日

内閣総理大臣 外務大臣 あて

大田区議会議長

交番の整理・統合計画の再考を求める意見書

大田区は、「安心・輝き・潤いのあるまち」の実現のために、犯罪等が起こりにくいまちを目指して、警察及び区民と連携して、地域社会が丸となり、安全対策に取り組んでいます。...

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成18年7月21日

東京都知事 警視總監 あて

大田区議会議長

請願・陳情の結果

今定例会で新規に提出されたものを掲載しています。
かつこ内は審査結果です。

健康福祉委員会

・障害者自立支援法を受け
て障害者福祉制度の充実
を求める陳情(継続)
・障害者自立支援法におけ
る大田区へ障害者福祉制
度の充実を求める陳情
(継続)

同 意

教育委員会委員の任命

○高山美智子

答 申

人権擁護委員の推薦

○佐々木 一幸
○橋爪伸由
○西川満智子
○小田部規矩男
○石井一平
○川崎洋子
○牧田章子

都市整備委員会

意見書提出に関する陳情
(継続)
・障害者自立支援法におけ
る「障害福祉計画」策定
に関する陳情(継続)
・障害者自立支援法におけ
る「地域生活支援事業」
施行に関する陳情(継続)
・障害者自立支援法におけ
る「地域生活支援事業」
応益負担に関する陳情
(継続)

こども文教委員会

・学童保育の時間延長に関
する陳情(継続)
・区立図書館での読みきか
せボランティア活動への
支援を求める陳情(採択)
・大田区の学童保育室でも、
障害児の入室については
学年延長をしていただき
たい陳情(継続)

議会運営委員会

・大田区議会陳情審査除外
基準に関する陳情(継続)
※そのほかは各委員会で継
続審査中です。

第2回臨時会

大田区議会は、平成
18年第2回臨時会を7
月19日から21日までの
3日間の会期で開きま
した。

7月21日の本会議で
は、直接請求代表者の
意見は聴き、議案を防
災・安全対策特別委員
会に付託しました。委
員会で議案審査をした
後、本会議で討論、採
決を行った結果、本条
例案は賛成者少数で否
決されました。
また、議員提出議案
として提出した「北朝
鮮のミサイル発射に対
し厳重に抗議する意見
書」及び「交番の整理・
統合計画の再考を求め
る意見書」は、原案どお
り全会一致で可決され
ました。